

「父の詫び状」から翻訳の問題を考える

黄 岷 秀

この間、なくなった女史の向田邦子の「父の詫び状」、という文章を読んだ。そして、翻訳の授業でも、二篇の中訳文と対照しながら、自分で一応実際に訳したことがあった。その試訳の過程中、いくつか翻訳の実力のみがきにプラスになったものがある。以下は「父の詫び状」の前半を主として、これからも深く掘り下げられる項目を取り上げて討論してみたものである。翻訳の理論（特に中↓日の部分）のまだ成り立っていない現状だから、ほとんど理論なしに、自ずで考え出したもので、なかなか粗末かもしれない。今後それぞれ項目について、もっとよい例を集めていきたいと思う。

(一) 題目の翻訳

(1) 「父の詫び状」

訳：父親的道歉信、父親的懺悔

文章の題目だが、訳す時、注意に値する点がある。「父の」ということばが、「父からの」とも「父への」とも読み取れるから、まず全文の意味をつかんで、その訳し方を決めることが肝要である。そうしないと、題目が誤訳された場合、文章全体の正しい読解なども問題になるのではなからうか。

(二) 単語ごとの意味を把握すること

(2) つい先だつての夜更けに伊勢海老一匹の到来物があつた。

到来物（もらいもの。いただき物）↓贈送物

訳：幾天前の深夜、有人送了一頭伊勢龍蝦來。

物の単位の呼称も一つの問題である。この文では、海老の大きさを、「一隻」に訳すべきものをわざと「一頭」と訳したのである。また、「到来物」という語も全句のキー、ワードに違いない。

(3) ひと仕事終えて風呂に入り、たまには人並の時間に床に入ろうかなと考えながら、思い切り悪く夕刊をひろげた時チャイムが鳴って、友人からの使いが、いま伊豆から車で参りましたと竹籠に入つた伊勢海老を玄関の三和土に置いたのである。

使い↓受差遣の人、僱者

三和土↓?

訳：工作告一段落、洗了澡後、考慮者是否要偶爾在一般人就寢的時間上床、卻又猶豫不決地攤開了報紙。正想着時、門鈴響了、朋友僱請的人從伊豆開車來、用竹籠帶了頭伊勢龍蝦來、擱在大門的石灰土台上。

「三和土」ということばが一番訳にくいものである。字引には、

ただ説明的解釈がならべてあるだけで、適当な一語訳がなさそうである。その上、中日両国の文化の差にもよるし、「三和土」は中国人にぴんと来ないのである。

また、「車で参りました」、も討論の中心になった。「車で」というのは、自分で運転することか、それとも、他人が運転する車で来るのか、翻訳するとき気を配る必要がある。

(4) オドリにすれば三、四人前はありますというだけあって、みごとに伊勢海老であった。

オドリ(寿司屋で生きているエビ)↓活蝦

訳：這隻伊勢蝦真夠膽的，新鮮生吃的話，足々夠三、四人份的了。もっと自然な中国語に訳すためには、原文の日本語の語順を適当に変更しなければならぬのである。中国語の訳文では、日本語の長いかざり、特に連体修飾語のようなものが、語順変更の方法を取らざるを得ない。

(5) 七、八年前の年の暮のことだが、関西育ちの友人が伊勢海老の高値に腹を立て、産地からまとめて買って分けてあげるといい出したことがあった。

関西育ちの友人↓在關西出生的朋友？在關西長大的朋友？

訳：那是七、八年前的事了。一位關西出身的朋友見伊勢龍蝦價格昂貴，心中惱火，便提議到該地搜購回來，分給大家大快朵頤一番。

「暮」という語が海老の季節から連想できるから、訳さなくても、大した間違いにはならない。

(6) 四角くなった蛙を面白おかしい口上と共に売りつけるのである。買った人がうちへ帰って開ける頃にはもとの蛙にもどっているのだが、あとは野となれ山となれ。

野となれ山となれ(どうなってもかまわない)↓

訳：跑江湖的用好玩、逗趣的宣傳詞，向人推銷「四方形青蛙」。買了「四方形青蛙」的人回家打開盒子時，青蛙就又變回原來的形狀，然而，那跑江湖的卻概不負責了。

これは一番誤訳されやすい文である。「野となれ山となれ」の本当の意味をつかむことが大切である。

(7) 娼婦の姿をしたディートリッヒが反逆罪で銃殺される。

反逆：国、主人、世間のやり方などにそむき逆らうこと。むほん。叛国？逆上？敗俗？

反逆の内容は、たまには、国々によって、差がある。例えば、日本のような国家の分裂のないもの場合には、「叛國罪」と対訳したら、おかしい。

(8) 香を焚き、海老一匹料れなくてどうする、だからドラマの中で人を殺すことが出来ないのだぞと自分を叱りながら、四ツン這いになって三和土を洗っていた。

訳：點了檀香，心想：連隻龍蝦都下不了手，還有什麼出息？像這樣，大概連在劇本中殺個人都不敢吧？邊罵著自己，邊臥在地上刷洗著土台。

「香」を「一枝香」、「一柱香」などと訳したのもあるが、ここでの「香」は線香のようなものではない、ということにはつきりしている。エビの腥い匂いを消すために焚くものだから。

「ドラマ」とは、向田邦子がよく書いたドラマのことと関係があったのだろう。それで、翻訳者があらかじめ、作者の思想などのバック、グラウンドをよく了解すべきである。それは正しい翻訳に役に立つわけである。

(三) 連体修飾部の訳し方：

(9) 黒い目は何を見ているのか。私達が美味しいと賞味する脳味噌はいま何を考えているのだろう。

訳：牠那黒眼珠在盯著什麼瞧呢？那美味的腦髓裏，又正在打著什麼主意呢？

この句の連体修飾語での「私達が」を省いた訳し方である。そうすると、自然で生きている中国語に近づいた文が出来る。

(10) 絨毯には、よだれといふかなめくじが這ったあとのようなしみがいっぱいについていた。(・・・が原文にあったもの)

訳：地毯上沾滿了唾液似的、水蛭爬痕般的汚漬。

或は、「地毯上沾滿了汚漬，像是唾液，又像上水蛭爬過的黏痕。」というように分解して訳すことも出来る。

被修飾語の前に、長い修飾語がかかる、ということも日本語の語順の一つの特徴だ、と言われる。長いかざりになじまない中国語では、やはり、できるだけ簡潔な短文に分けた方がいい。

(11) 結局高い買物についてしまったわねと大笑いをしたことを思い出して、三和土の隅のブーツを下駄箱に仕舞った。

訳：想起那件想佔便宜而終究買貴了的糗事，便趕緊把土台上的長筒靴收進鞋櫃裏。

もつとよい訳し方がないかと、まだいろいろ吟味すべきところがある。「……と大笑いをした……」の部分を訳文でどう配置したらよいか、など。或は、除外して始めてすっきりした中国語になるかもしれない。

(12) テレビで見た往年の名画「間諜×27」のラストシーンである。

訳：那是電視上播映的舊名片「間諜×27」的最後一幕。長い修飾語があるから、うまく訳せない場合もよくあるはずである。『那是在電視上看過的舊名片「間諜×27」的最後一幕。』でもよかった。

だが、いずれもややこしい感じがする。分解して訳したら、『那舊名片「間諜×27」的最後一幕。在電視上看過的。』になる。

(13) 冷蔵庫の中でまだ動いているに違いない大きい海老を考えると①気が重く、②眠ったのか眠らないのか判らないうちに朝になってしまった。

訳：想到冰箱中必定仍蠕動著的龍蝦，心情不覺沈重。竟這樣在似睡未睡的恍惚狀態中挨到天亮。

以上の訳文は連体修飾の体言止めの形にこだわっているから、やや不自然である。もし、「想到冰箱裏的龍蝦一定還在動著……」のように、原来の体言止めを用言の述語に変えれば、よくなるであろう。

(14) 昼前、私はまだ生きている海老を抱えてタクシーに乗り、年頃の大学生のいるにぎやかな友人の家を選んで海老を進呈した。

訳：趕著在中午以前，我抱著還活著的龍蝦搭上計程車，選了位家裏有正讀大學的孩子的朋友，把龍蝦給送去了。

エビを困らせた不安の気持の表われですから、「趕著在」ということばを付け加えたのである。

(15) 保険会社の地方支店長をしていた父は、宴会の帰りなのか、夜更けにほろ酔い気嫌で客を連れて帰ることがあった。

訳：那時，父親擔任保險公司的區支店長，有時會在半夜像是從宴會中回來似的，挾著幾分醉意的把客人帶回家來。↓那時，父親擔任保險公司的區支店長，偶爾會像是才從宴會中回來般，在半夜挾著幾分醉意地把客人帶回家來。

(四) 連用修飾語の訳し方：

(16) 習性とはいえ飼っている動物の残忍な行動を見るのは飼主とし

て辛いものがある。

訳：可以說是本性吧？身為養主，眼見自己飼養的動物的殘忍行為，總是難受的。

16 夢の中でマミオが灰色の四角い猫になっているのである。何と
いうことをしてしまったのかと私は猫を抱きしめ声を立てて泣いて
しまった。

訳：夢中，瑪米歐變成了灰色的四方形貓。我抱著貓咪放聲大哭，
不知自己究竟做了些啥壞事。

これも語順を変更する、という方法を取ったのである。

(五) その他

18 これも七、八年前のことだが、猫が四角くなった夢を見たこと
があった。

訳：這也是七、八年前的事了。那天，我作了個惡夢，夢見貓變成
了四方形。

あるいは、作了個猫變成了四方形s的怪夢。「惡」、「怪」とかの
語がなければ、「猫が四角い夢になった。」にも取られる恐れが
ある。

19 母は客のコートを預ったり座敷に案内して挨拶をしたりで忙し
いので、

訳：母親忙著幫客人放外套，或者招呼客人入座、聊天，

もつとよい訳し方がなからうかと、まだまだ考えなおす必要があ
る。

以上の五つの点のほかに、その国の文化、慣習を反映することな
ども訳文のよしあしに影響するので、言葉以外のものをより深く理

解すべきである。

参考書目：

1. 望月八十吉 中国語と日本語 光生館
2. 金田一春彦編 日本語の特色 講談社
3. 今富正己 中国語↔日本語翻訳の要領 光生館
4. 岩波書店 翻訳